別紙２

概要版

# 第２期
# 八王子市国民健康保険
# データ活用保健事業実施計画
# （改定版）

素案

令和6～11年度（2024～2029年度）

令和9年（2027年）2月

八王子市

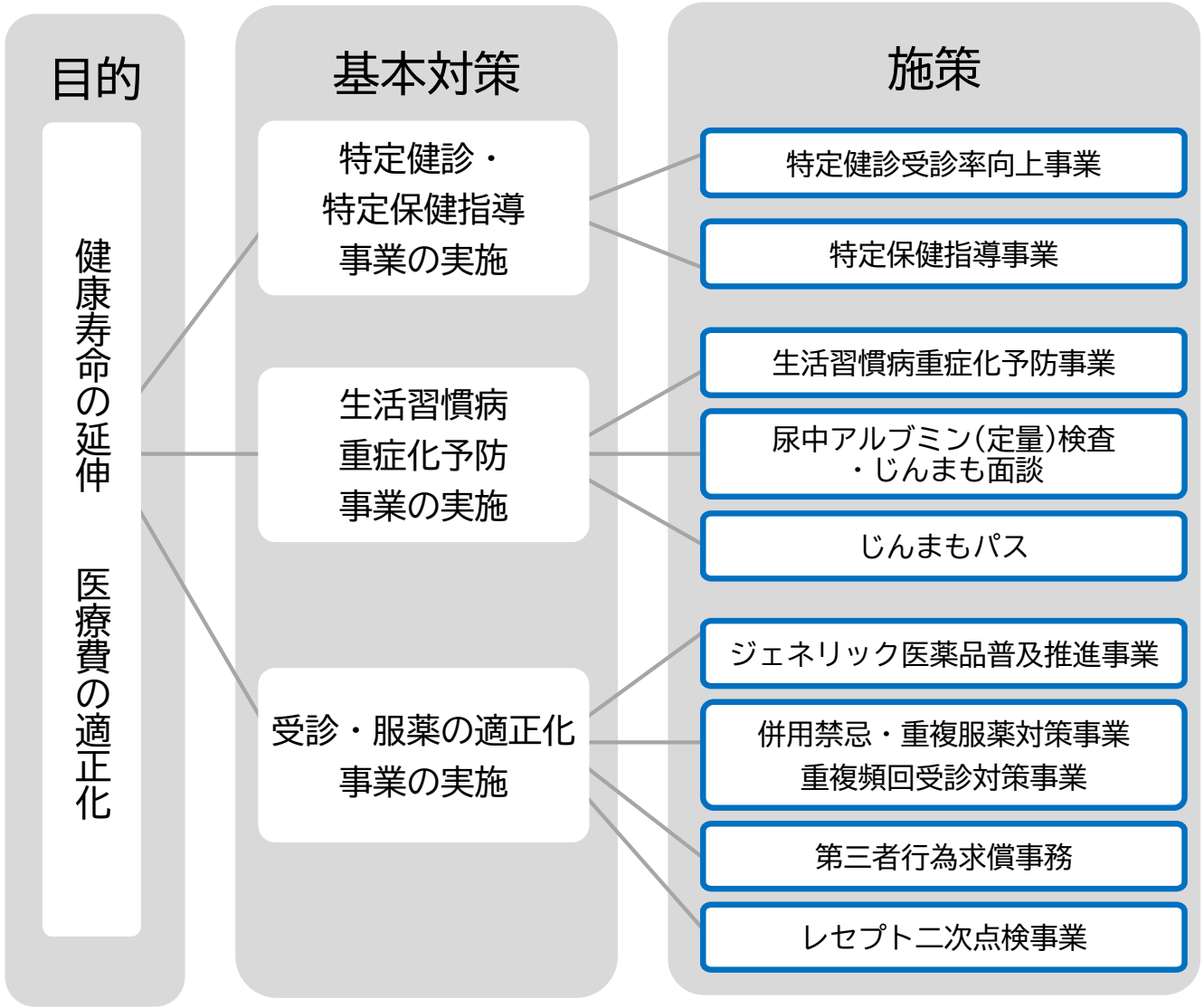
健康医療部　成人保健課・保険年金課

# 本計画の背景と目的

本市では、平成20年(2008年)3月に「八王子市国民健康保険特定健康診査等実施計画」を、平成25年(2013年)3月には「第2期八王子市国民健康保険特定健康診査等実施計画」を策定し、健診受診率や保健指導実施率の向上の取組を実施しました。さらに、平成30年(2018年)3月には、「第3期特定健康診査等実施計画」を包含した形で、「八王子市国民健康保険データ活用保健事業実施計画」を策定し、令和6年度(2024年度)に第2期を作成しました。今回は第2期の中間改定となります。作成にあたり、第2期の中間評価と現状把握を行うため、令和3年度(2021年度)と令和7年度(2025年度)等の比較を行っています。

本計画では、図表1に示すように「健康寿命の延伸」及び「医療費の適正化」を目的に設定し、PDCAサイクルに基づき効果的・効率的に保健事業を展開しています。

図表1　本計画の目的と保健事業の概念図



# 中間評価について

現計画の目的・目標達成に向けて、図表2のとおり、指標のモニタリングを行った。

図表2　現行計画における指標、現状値、目標値及び進捗状況

| 基本対策 | アウトプット・<br>アウトカム指標 | 策定時<br>（R4） | 現状値<br>（R7） | 目標値<br>（R11） | 進捗状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 特定健診・<br>保健指導の実施 | 特定健康診査受診率 | 45.6% | 44.6% | 60.0% | 要対応 |
| | 特定保健指導受診率 | 27.1% | 28.5% | 60.0% | 要対応 |
| 生活習慣病<br>重症化予防 | 糖尿病受診勧奨者の<br>勧奨後受診率 | 49.4% | 49.7% | 55.0% | 概ね順調 |
| | HbA1c8.0%以上の<br>有所見者割合の減少 | 1.2% | 1.0% | 1.0% | 順調 |
| 受診・服薬の<br>適正化 | ジェネリック<br>医薬品使用率 | 80.7% | 89.3% | R10 +0.5% | 順調 |
| | 併用禁忌・重複服薬・<br>重複頻回対象者の<br>医療費削減額 | 1,848,981円 | 29,933,619円 | R10削減額<br>（前年度を上回る） | 順調 |
| | 第三者求償額 | 30,285,589円 | 30,083,310円 | R10求償額<br>（前年度を上回る） | 概ね順調 |
| | レセプト二次点検による<br>医療費削減額 | 37,766,231円 | 51,271,346円 | R10削減額<br>（前年度を上回る） | 順調 |

モニタリングの結果、次のとおり対策の実施が必要である。

・特定健康診査受診率向上 … 受診率が伸び悩む40・50代への行動変容を促す実効性の高い受診勧奨の検討・実施を行う
・特定保健指導実施率向上 … 働き世代の利用を促す、実施日時の検証、ICT面談を活用する
・受診、服薬の適正化 …データ分析や対象者への介入手法の充実、未把握案件への対応強化及び点検精度の向上が必要である

# 改定版について

現計画の目的及び目標は継承するものとし、中間評価の結果や医療・健診データの分析結果等を踏まえ、より効果効率的な保健事業の実施に向けて個別保健事業の充実を図る。

目的の達成に向け、現行計画策定後また中間評価及びデータ分析により明らかとなった健康課題、すなわち生活習慣病重症化予防（「八王子血管まもろうプログラム」）、一体的実施事業、筋骨格系疾患への対応等の取組を推進する。あわせて、EBPMの考え方に基づき、科学的根拠に裏付けられた効果的な保健事業を展開し、国民健康保険の被保険者のライフコースに応じた健康課題への対応、健康支援体制の構築を行う。

図表3　新たな取組に対する指標および目標設定

| 基本対策 | アウトプット・アウトカム指標 | 策定時（R4） | 現状値（R7） | 目標値（R11） |
|---|---|---|---|---|
| 生活習慣病重症化予防 | 尿中アルブミン（定量）検査受診率 | — | 59.4% | 80.0% |
| | じんまも面談実施率 | — | 50.0% | 70.0% |
| | じんまもパス発行率 | — | 62.5% | 100.0% |

## （１）計画策定後に取り組んだ事業及び出現した課題への対応

・「八王子血管まもろうプログラム」… アルブミン（定量）検査受診率、じんまも面談実施率、じんまもパス発行率、腎臓内科医受診率等KPIの設定。指標に基づく事業実施

・一体的実施事業 … 保健事業（生活習慣病対策）からフレイル・介護予防までの切れ目ない支援体制を構築。データ分析によるハイリスク者支援と孤立層へのアウトリーチを強化。地域特性に応じた予防活動の推進

・筋骨格系疾患への対応 … 骨折、関節疾患等を含む「筋骨格系疾患」が医療費の上位に位置し、要介護状態となる要因の一つである骨粗しょう症への効果効率的な介入を検討

## （２）本市の保健事業におけるEBPMの推進

・「LIFE Study」の参加、フィードバック … ビックデータを活用した中・長期的視点でのEBPMに基づく予防重視の施策を展開する